



グループ通信

発行／ふれディアグループ本部 編集部

〒351-0022 埼玉県朝霞市東弁財1-3-4

朝霞台駅前ビル8F

全国相談窓口 ☎0120-116-017



こんにちは、ふれディア通信編集部です。3月になり、だんだん暖かくなってきましたね。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期ですが、お変わりありませんか？毎年3月下旬になると、春のセンバツ高校野球が始まります。昨夏の第100回記念大会に続き、今春も平成最後の大会として、熱戦が繰り広げられることでしょう。ところで、夏の甲子園と春の甲子園には、どんな違いがあるのでしょうか。多くの皆さんがご存知なのは、夏は全国の各都道府県の予選から勝ち上がってきた高校が参加する大会で、春は「センバツ」と呼ばれるように、全国から選抜・推薦された高校が参加する大会ということだと思います。この選抜方法ですが、各都道府ではなく各地区から代表を決めたり、2001年からは「21世紀枠」と言ってボランティア活動などで地域に貢献した模範校、または部員不足などのハンディを克服した学校を選抜する枠も設置されたりなど、いろいろ決まりがあります。少し複雑ですが、ユーモアに富んでいるものですよ。しかし、さらによく調べてみると春と夏の高校野球では様々な違いがあって興味深いのです。身近なところから紹介すると、開会式の入場行進曲が春と夏で違います。夏は大会行進曲が毎年流れますが、春のセンバツでは、通常その時に流行っている楽曲が選ばれ、入場行進曲として毎年異なる曲が使われるのです。ただし今年は、平成を代表する楽曲が採用され、例年とは違ったようですが…。また、優勝旗の色も違います。夏は深紅の優勝旗に対し、春は紫紺の優勝旗なのです。昨年、春夏連覇を果たした大阪桐蔭高校には赤と紫の優勝旗が飾ってあるのでしょうか。これまで旗の色に意識していなかった人は、開会式の優勝旗返還や表彰式でチェックしてみてください。ちなみに、なぜ夏が深紅で春が紫紺なのかは不明なのだそうですよ。そして、主催者も違います。春は高等学校野球連盟と毎日新聞主催、夏は高等学校野球連盟と朝日新聞主催。他にもいろいろ相違点はありますが、このような豆知識を頭に入れてみると、高校野球をいつもとは違った視点から楽しめるかもしれません。球児たちのひたむきでさわやかなプレーのように、私たちも短い春を、存分に満喫して過ごしていきましょう！

ふれディア通信編集部



脳トレーニングで
脳年齢を若く
脳を活性化!

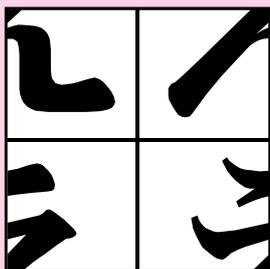
バラバラになった「ひらがな」は何でしょう？

「ひらがな1文字」を問1と問2では4分割、問3と問4では9分割にバラバラにしました。

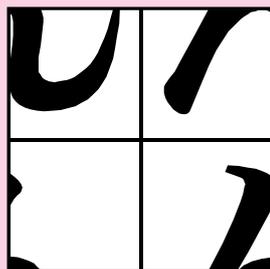
元の「ひらがな」は何でしょう？



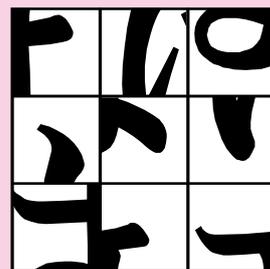
問1



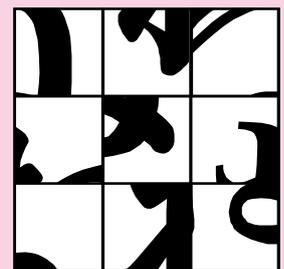
問2



問3



問4



“解答”は他のページに載っています。答えがわかるまでじっくり考えることが脳の活性化につながります!